

2014年(平成26年)3月22日 土曜日 第21468号

日刊

(15)

(月ぎめ購読料1,530円うち消費税72円)・一部売り(税込み)70円

<第3種郵便物認可>

た。
春季リーグは田辺地区が21
区(21日、田辺高校グラウンドで)
6チームが参加して開幕した紀南10
高校野球春季リーグ戦の田辺地

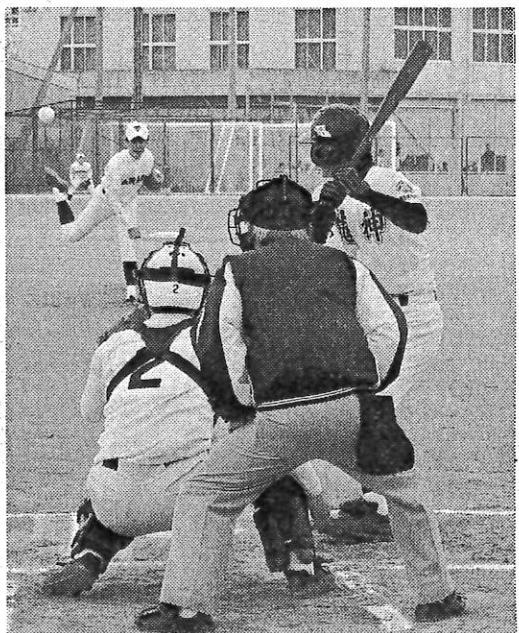
紀南10高校野球春季リーグ戦は21日、田辺地区と新宮地区に分かれて開幕した。

田辺地区的開会式は田辺市立学園の田辺高校グラウンドであり、当番校の熊野高校の稲田敬一校長が「今日から選抜甲子園も始まったが、次はこの中から甲子園出場チームが出るよう頑張ってください」とあいさつ。続いて、熊野の安達康介主将が「全力疾走、全力プレーで戦い抜くことを誓います」と選手宣誓した。

その後、南部龍神—田辺の一戦でリーグ戦がスタートした。

田辺・新宮で開幕

紀南10高校野球
春季リーグ戦



27日は両地区交流戦を行う。田辺市龍神村の龍神グリーングラウンドで両地区的1、2位同士、新宮市佐野の

1—(田辺、南部、南部龍神)vs. 2—(新宮)で3、4位同士が対戦する。

25日にA、Bゾーン対抗戦を行って順位を決める。新宮地区は21日から3日間で順位を決める。